

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		23/11 0.70 倍	22/11 0.66 倍	前年同月比 0.04 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電灯	9~11月 80,271千kwh	9~11月 85,890千kwh	-6.54 %
	電力	9~11月 255,379千kwh	9~11月 282,498千kwh	-9.60 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,675 台	5,414 台	23.29 %
	中古車	1,560 台	1,725 台	-9.57 %
	合計	8,235 台	7,139 台	15.35 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		9~11月 164 件	9~11月 234 件	-29.91 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		65,098 人	63,974 人	1.76 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	297,294 台	297,516 台	-0.07 %
	出	282,647 台	280,780 台	0.66 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	408,015 台	415,938 台	-1.90 %
	出	421,029 台	434,691 台	-3.14 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	325,329 台	332,275 台	-2.09 %
	出	327,993 台	331,923 台	-1.18 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	261,274 台	261,084 台	0.07 %
	出	259,663 台	254,820 台	1.90 %

前期 7 - 9月 今期 10 - 12月 来期 1 - 3月 4 - 6月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先223社に対し、平成23年10月~12月期の景気の現状と平成24年1月~3月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

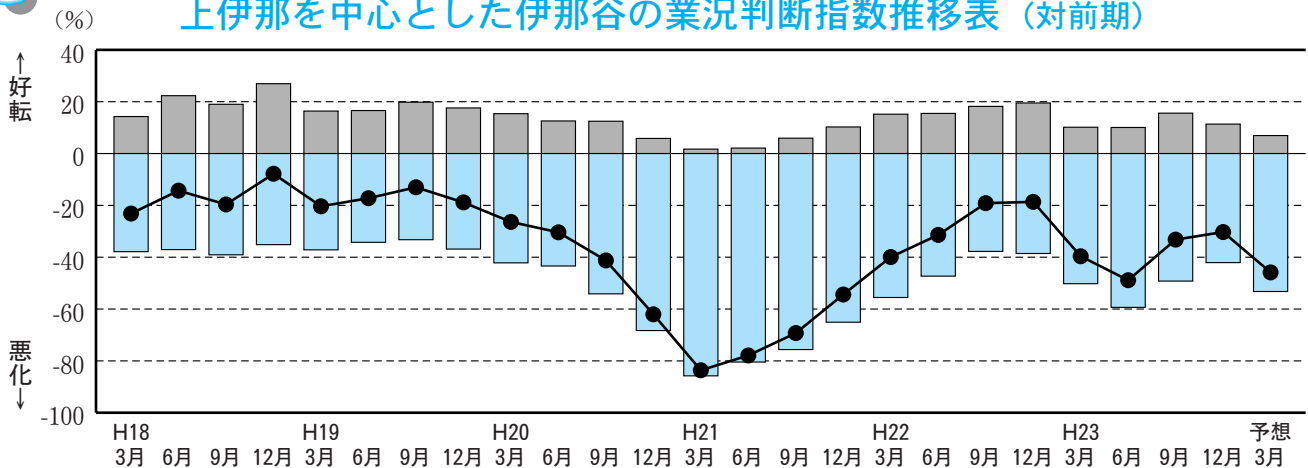
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況については、良かったとする企業は11.3%（前期15.5%）、悪かったとする企業は41.9%（前期49.0%）で、DIは▲30.6（前期▲33.5）と前期より2.9ポイント改善した。景気は東日本大震災や円高などの影響により厳しい状況下ではあるが、業況感は持ち直しの動きが現れた。

業種別に見ると、DIは製造業▲20.8（前期▲27.7）、建設業▲26.6（前期▲36.4）、卸売業12.5（前期▲27.3）、小売業▲50.0（前期▲37.5）、サービス業▲46.7（前期▲42.8）、不動産業▲42.9（前期▲28.6）となっており、卸売業のみプラスに転じた。卸売業を除く業種はマイナス領域にあるが、製造業、建設業、卸売業は前期と比較して改善が見られている。改善幅は卸売業39.8ポイント、建設業9.8ポイント、製造業6.9ポイントである。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは▲46.1（今期▲30.6）と15.5ポイント悪化傾向が強まる見通しである。今期、持ち直しつつあった業況は、長引く円高や海外経済減速などが、景気回復の大きな悪影響となり、低調感を強める業況予想である。

業種別で見ると、DIは製造業▲43.4（今期▲20.8）、建設業▲26.6（今期▲26.6）、卸売業▲25.0（今期12.5）、小売業▲61.1（今期▲50.0）、サービス業▲70.0（今期▲46.7）、不動産業▲42.9（今期▲42.9）とすべての業種がマイナス領域となっている。建設業、不動産業は今期と同様に低調推移する見通しであるが、製造業、小売業、サービス業はマイナス幅が拡大し今期より低調感を強め、卸売業はマイナスに転じ今期より厳しさを強める見通しである。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	平成23年	平成23年	平成23年	平成24年
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期予想
総合		☔	☔	☔	☔
製造業		☔	☁	☁	☔
建設業		☔	☔	☁	☁
卸売業		☔	☁	☔	☁
小売業		☔	☔	☔	☔
サービス業		☔	☔	☔	☔
不動産業		☁	☁	☔	☔



製造業

(調査先企業 84 社 うち回答企業 77 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**18.2%**（前期**19.7%**）、悪かったとする企業は**39.0%**（前期**47.4%**）でDIは**▲20.8**（前期**▲27.7**）と**6.9**ポイント悪化幅が縮小し、厳しさが和らいだ。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDI**▲3.9**（前期**2.6**）で**6.5**ポイント減少し、増加から減少に転じた。受注残においてもDI**▲7.8**（前期**▲2.7**）と**5.1**ポイント減少した。また収益のDIも**▲18.2**（前期**▲11.8**）で**6.4**ポイント減少した。資金繰りのDIは**▲26.0**（前期**▲25.4**）で厳しさを少し増した。販売価格のDIは**▲13.0**（前期**▲7.9**）で**5.1**ポイント下降傾向を強めた。また原材料価格のDIは**▲26.0**（前期**▲35.5**）と**9.5**ポイントマイナス幅が縮小しているが、原材料価格が上昇した企業は3割近くある。

前年同期比で見ると売上額はDI**▲20.7**（前年同期**25.6**）と**46.3**ポイント減少し水面下に落ち込み、収益面においてもDI**▲24.7**（前年同期**9.8**）と**34.5**ポイント減少し水面下に落ち込んだ。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**9.2%**（今期**18.2%**）と減少、悪いと予想する企業は**52.6%**（今期**39.0%**）と増加する予想で、DIは**▲43.4**（今期**▲20.8**）と**22.6**ポイント悪化幅が拡大する見通しである。

主な指標では、売上額はDI**▲28.9**（今期**▲3.9**）と**25.0**ポイントさらに減少し、受注残もDI**▲23.7**（今期**▲7.8**）と**15.9**ポイントさらに減少する見通しである。資金繰りのDIは**▲25.0**（今期**▲26.0**）と今期とほぼ同様の窮屈感がある見通しである。借入を予定している企業は**27.4%**（今期実施**38.2%**）と今期より減少予定、設備投資の実施を予定している企業は**40.4%**（今期実施**41.5%**）で今期とほぼ同様である。

◆DI指数推移

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲5.0	▲30.8	▲43.2	▲27.7	▲20.8	▲43.4	
売 上 額	4.9	▲36.7	▲13.6	2.6	▲3.9	▲28.9	
受 注 残	3.6	▲35.5	▲10.0	▲2.7	▲7.8	▲23.7	
収 益	▲4.9	▲40.5	▲24.7	▲11.8	▲18.2	▲38.1	
販 売 価 格	▲14.7	▲12.7	▲13.8	▲7.9	▲13.0	▲19.7	
原 材 料 価 格	▲24.7	▲46.8	▲45.6	▲35.5	▲26.0	▲7.9	
原 材 料 在 庫	3.7	14.0	6.2	5.2	6.5	0.0	
資 金 繰 り	▲15.8	▲16.4	▲27.1	▲25.4	▲26.0	▲25.0	

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	30.5%	30.4%	30.9%	32.9%	38.2%	27.4%
	しない	69.5%	69.6%	69.1%	67.1%	61.8%	72.6%
借 入 難 易 度	容 易	13.6%	12.7%	13.6%	10.7%	6.6%	—
	不 変	54.3%	63.3%	65.4%	65.3%	68.4%	—
	難	19.8%	10.1%	9.9%	10.7%	11.8%	—
	該当なし	12.3%	13.9%	11.1%	13.3%	13.2%	—

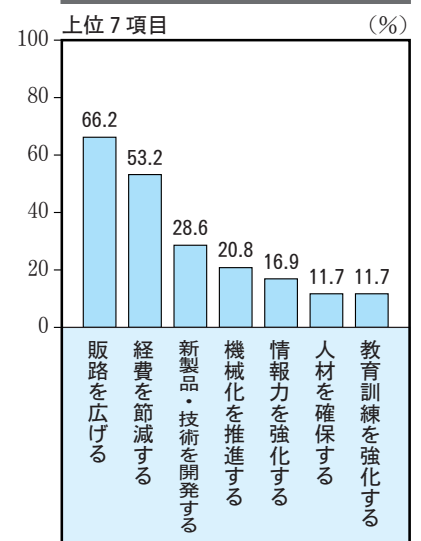
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	44.6%	42.6%	40.0%	41.4%	41.5%	40.4%
	しない	55.4%	57.4%	60.0%	58.6%	58.5%	59.6%
状 況	過 剰	11.0%	15.2%	16.0%	13.2%	15.8%	20.3%
	適 正	75.6%	69.6%	70.4%	71.0%	68.4%	68.9%
	不 足	13.4%	15.2%	13.6%	15.8%	15.8%	10.8%
DI	▲2.4	0.0	2.4	▲2.6	0.0	9.5	

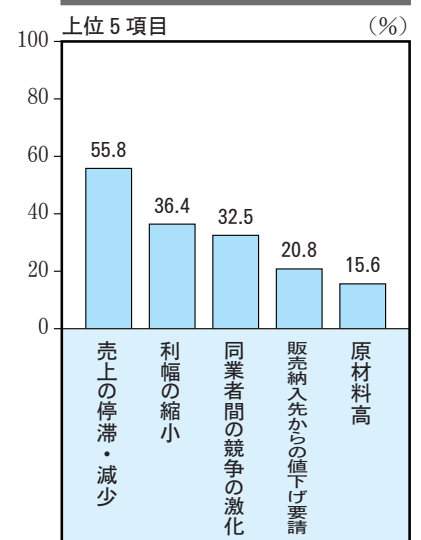
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	29.3%	19.0%	14.8%	21.3%	23.4%	16.0%
	不 変	50.0%	56.9%	55.6%	52.0%	55.8%	54.7%
	減 少	20.7%	24.1%	29.6%	26.7%	20.8%	29.3%
人 手	過 剰	15.9%	12.7%	27.2%	18.4%	14.3%	21.3%
	適 正	69.5%	65.8%	66.6%	67.1%	77.9%	69.4%
	不 足	14.6%	21.5%	6.2%	14.5%	7.8%	9.3%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



建設業

(調査先企業 50 社 うち回答企業 45 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**6.7%**（前期**13.6%**）、悪かったとする企業は、**33.3%**（前期**50.0%**）で、DIは**▲26.6**（前期**▲36.4**）と**9.8**ポイント悪化幅が縮小し、厳しさが和らいだ。

各指標別を見ると、売上額は前期に比べてDI**2.2**（前期**▲27.2**）で**29.4**ポイント改善し、増加傾向に転じた。受注残もDI**2.2**（前期**▲25.0**）と**27.2**ポイント改善し、増加傾向に転じた。施工高もDI**8.9**（前期**▲25.0**）と**33.9**ポイント改善し、増加傾向に転じた。価格面では請負価格がDI**▲15.5**（前期**▲22.7**）と**7.2**ポイント下降幅が縮小した。材料価格はDI**▲33.3**（前期**▲38.6**）と**5.3**ポイント上がり、価格が上昇したとする企業の割合は減少した。収益面は前期に比べDI**▲22.2**（前期**▲43.2**）で**21.0**ポイント改善した。在庫は前期と比べてDI**▲2.3**（前期**7.0**）で過剰から品薄へと転じた。資金繰りについては、前期に比べてDI**▲37.8**（前期**▲31.8**）と**6.0**ポイント窮屈感を強めた。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲27.2**（前年同期**▲31.3**）と**4.1**ポイント改善、収益面はDI**▲36.4**（前年同期**▲31.3**）と**5.1**ポイント減少した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI**▲26.6**（今期**▲26.6**）と横這いで、引き続き低調な景況予想である。

各指標別においては、売上額のDIは**▲4.5**（今期**2.2**）と**6.7**ポイント減少し、増加から減少へ転じる見通し。受注残も**▲25.0**（今期**2.2**）と**27.2**ポイント減少し、増加から減少へ転じる見通しである。収益面のDIは**▲20.5**（今期**▲22.2**）と**1.7**ポイント改善する見通しではあるが、第4四半期も厳しい収益環境である。資金繰りのDIは**▲39.5**（今期**▲37.8**）と窮屈感を少し強める業界見通しである。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

◆DI指数推移

		平成22年		平成23年				予想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
業況		▲14.5	▲40.0	▲52.1	▲36.4	▲26.6	▲26.6	
売上額		▲4.1	▲16.0	▲37.5	▲27.2	2.2	▲4.5	
受注残		4.2	▲20.0	▲37.5	▲25.0	2.2	▲25.0	
収益		▲16.6	▲34.0	▲52.1	▲43.2	▲22.2	▲20.5	
請負価格		▲27.1	▲24.0	▲27.1	▲22.7	▲15.5	▲20.5	
材料価格		▲22.9	▲38.8	▲56.3	▲38.6	▲33.3	▲20.4	
在庫		2.1	0.0	▲2.2	7.0	▲2.3	0.0	
資金繰り		▲27.1	▲42.0	▲35.4	▲31.8	▲37.8	▲39.5	

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

		平成22年		平成23年				予想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
借入実施	した	51.1%	56.0%	43.8%	40.9%	62.2%	45.2%	
	しない	48.9%	44.0%	56.2%	59.1%	37.8%	54.8%	
借入難易度	容易	12.8%	14.9%	6.3%	11.6%	11.1%	—	
	不変	55.3%	55.3%	58.2%	65.1%	57.8%	—	
	難	25.5%	25.5%	29.2%	14.0%	24.4%	—	
	該当なし	6.4%	4.3%	6.3%	9.3%	6.7%	—	

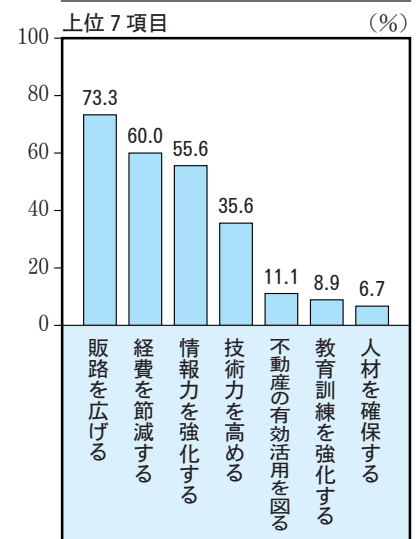
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

		平成22年		平成23年				予想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
実施	した	31.5%	23.2%	28.3%	27.5%	25.0%	13.0%	
	しない	68.5%	76.8%	71.7%	72.5%	75.0%	87.0%	
状況	過剰	6.4%	16.3%	8.5%	9.1%	2.2%	4.7%	
	適正	85.1%	67.4%	78.7%	79.5%	84.5%	81.3%	
	不足	8.5%	16.3%	12.8%	11.4%	13.3%	14.0%	
DI		▲2.1	0.0	▲4.3	▲2.3	▲11.1	▲9.3	

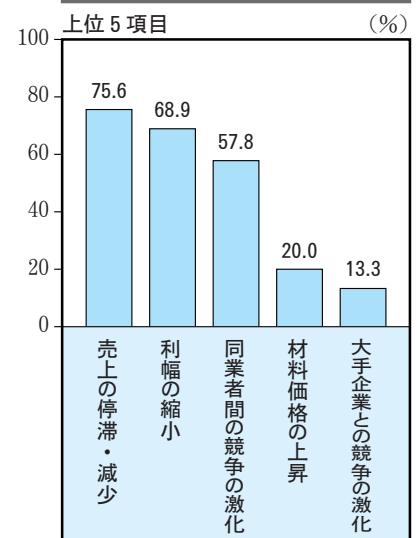
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

		平成22年		平成23年				予想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
残業間	増加	8.3%	2.0%	4.2%	2.3%	6.7%	15.9%	
	不変	81.3%	79.6%	70.8%	79.5%	80.0%	68.2%	
	減少	10.4%	18.4%	25.0%	18.2%	13.3%	15.9%	
人手	過剰	14.6%	20.0%	25.0%	15.9%	17.8%	15.9%	
	適正	66.6%	64.0%	66.7%	75.0%	57.8%	56.8%	
	不足	18.8%	16.0%	8.3%	9.1%	24.4%	27.3%	

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 8 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**25.0%**（前期**9.1%**）で、悪かったとする企業は**12.5%**（前期**36.4%**）で**DI12.5**（前期**▲27.3**）と**39.8**ポイント改善し、プラスに転じた。

各指標別に見ると、売上額は、前期比では**DI37.5**（前期**9.1**）と**28.4**ポイント前期を上回った。販売価格は**DI0.0**（前期**27.3**）で**27.3**ポイント下がり、価格の上昇が弱まった。仕入価格の**DI**は**▲25.0**（前期**▲45.5**）と**20.5**ポイント上がり、価格の上昇が弱まった。収益面は前期比で**DI12.5**（前期**9.1**）と**3.4**ポイント増加幅が拡大した。資金繰りについては**DI▲12.5**（前期**▲27.3**）で**14.8**ポイント厳しさが和らいだ。借入れを実施した企業は**28.6%**（前期**40.0%**）と減少、設備の状況については適正とする企業は**87.5%**（前期**90.9%**）と僅かに低下、設備投資の実施をした企業は**12.5%**（前期**18.2%**）と前期より減少した。

前年同期比で見ると、売上額は**DI37.5**（前年同期**▲10.0**）と**47.5**ポイント改善し増加に転じ、収益面も**DI25.0**（前年同期**10.0**）と**15.0**ポイント増加幅が拡大した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI▲25.0**（今期**12.5**）と**37.5**ポイント悪化し、マイナスに転じる景況見通しである。

主な指標で見ると、売上額の**DI**は**▲37.5**（今期**37.5**）と**75**ポイント大幅に減少し、増加から減少に転じる見通しである。収益の**DI**も**▲37.5**（今期**12.5**）と**50**ポイント大幅に減少し、増加から減少に転じる見通しである。販売価格は**DI▲12.5**（今期**0.0**）で**12.5**ポイント下降が強まり、仕入価格の**DI**は**▲12.5**（前期**▲25.0**）と**12.5**ポイント上がり、価格の上昇が弱まる見通しである。借入れを予定している企業は**16.7%**（今期実績**28.6%**）と今期より減少、設備投資の実施を予定している企業は**0.0%**（今期実績**12.5%**）で来期の設備投資の実施予定はない状況である。

◆DI指数推移

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想 1~3月
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	▲60.0	▲63.6	▲36.4	▲27.3	12.5	▲25.0
売 上 額	▲10.0	▲18.2	▲9.1	9.1	37.5	▲37.5
収 益	10.0	▲18.2	▲18.2	9.1	12.5	▲37.5
販 売 価 格	10.0	27.3	18.2	27.3	0.0	▲12.5
仕 入 価 格	▲10.0	▲36.4	▲36.4	▲45.5	▲25.0	▲12.5
在 庫	0.0	36.4	0.0	27.3	12.5	25.0
資 金 繰 り	▲20.0	▲20.0	▲9.1	▲27.3	▲12.5	▲12.5

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
借 入 実 施	した	33.3%	50.0%	70.0%	40.0%	28.6%	16.7%
	しない	66.7%	50.0%	30.0%	60.0%	71.4%	83.3%
借 入 難 易 度	容 易	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	—
	不 変	70.0%	80.0%	70.0%	88.9%	75.0%	—
	難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	該当なし	10.0%	10.0%	20.0%	11.1%	25.0%	—

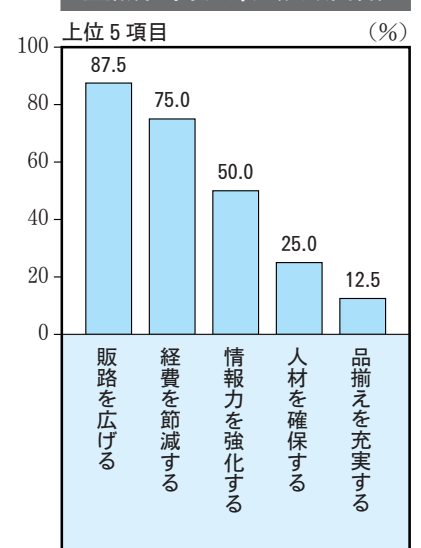
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
実 施	した	10.0%	9.1%	0.0%	18.2%	12.5%	0.0%
	しない	90.0%	90.9%	100.0%	81.8%	87.5%	100.0%
状 況	過 剰	11.1%	18.2%	9.1%	9.1%	12.5%	25.0%
	適 正	88.9%	81.8%	90.9%	90.9%	87.5%	75.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI	11.1	18.2	9.1	9.1	12.5	25.0	

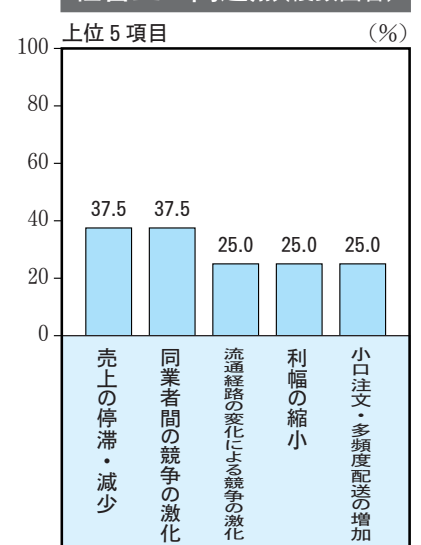
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年 10~12月	平成23年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	12.5%	0.0%
	不 変	100.0%	90.0%	80.0%	66.7%	87.5%	87.5%
	減 少	0.0%	10.0%	20.0%	22.2%	0.0%	12.5%
人 手	過 剰	25.0%	36.4%	18.2%	18.2%	12.5%	25.0%
	適 正	75.0%	63.6%	81.8%	81.8%	62.5%	62.5%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



小 売 業 (調査先企業 41 社 うち回答企業 36 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**8.3%**（前期**12.5%**）、悪かったとする企業は**58.3%**（前期**50.0%**）で、**DI▲50.0**（前期▲**37.5**）と**12.5**ポイント悪化幅が拡大し、厳しさを増した。

各指標別に見ると、売上額は、前期比では**DI▲13.8**（前期▲**12.5**）と前期より僅か悪化で推移した。販売価格については、前期比では**DI▲5.6**（前期▲**17.5**）と**11.9**ポイント厳しさが和らいだ。また仕入価格のDIは▲**13.8**（前期**7.5**）と**21.3**ポイント下がり、仕入価格は厳しい状況に転じた。収益面では、前期比で**DI▲30.5**（前期▲**37.5**）と**7.0**ポイント改善した。資金繰りのDIは▲**22.2**（前期▲**25.0**）と**2.8**ポイント改善した。今期借入れをした企業は**29.4%**（前期**25.6%**）で前期より増加した。今期設備投資の実施をした企業は**17.1%**（前期**10.0%**）で前期より増加した。

前年同期比で見ると、売上額は**DI▲33.4**（前年同期▲**25.6**）と**7.8**ポイント減少を強め、収益面も**DI▲40.0**（前年同期▲**23.1**）と**16.9**ポイント減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI▲61.1**（今期▲**50.0**）と**11.1**ポイント減少し、業況感がさらに落ち込む見通しとなっている。

各指標別では、売上額のDIは▲**22.3**（今期▲**13.8**）と**8.5**ポイント減少を強める予想となっており、収益のDIは▲**27.8**（今期▲**30.5**）で**2.7**ポイント改善する見通しである。借入れを予定している企業は**18.2%**（今期実施**29.4%**）と今期より減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**8.8%**（今期実施**17.1%**）となっており、小売業における設備投資需要は減少の予想である。

◆DI指数推移

	平成22年		平成23年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲23.1	▲38.1	▲53.7	▲37.5	▲50.0	▲61.1	
売 上 額	▲12.9	▲11.9	▲39.0	▲12.5	▲13.8	▲22.3	
収 益	▲10.2	▲26.8	▲48.8	▲37.5	▲30.5	▲27.8	
販 売 価 格	▲7.7	▲4.8	▲19.5	▲17.5	▲5.6	0.0	
材 料 価 格	▲5.1	▲21.4	7.3	7.5	▲13.8	▲13.9	
在 庫	20.5	14.3	7.3	2.5	27.8	8.3	
資 金 繰 り	▲30.8	▲23.8	▲34.2	▲25.0	▲22.2	▲25.0	

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成22年		平成23年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	23.1%	16.7%	17.1%	25.6%	29.4%	18.2%
	しない	76.9%	83.3%	82.9%	74.4%	70.6%	81.8%
借 入 難 易 度	容 易	10.5%	9.5%	7.5%	5.4%	14.3%	—
	不 変	47.4%	47.6%	52.5%	48.7%	45.7%	—
	難	18.4%	11.9%	7.5%	18.9%	20.0%	—
	該当なし	23.7%	31.0%	32.5%	27.0%	20.0%	—

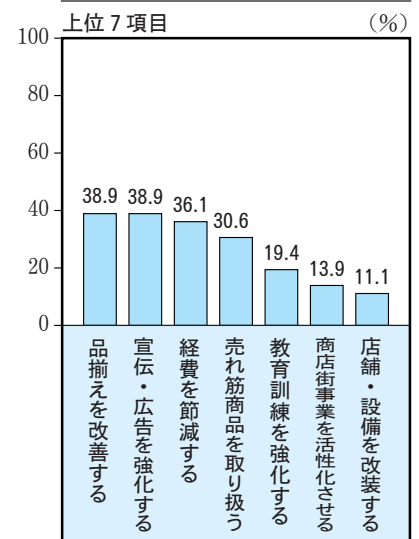
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年		平成23年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	12.8%	18.2%	7.3%	10.0%	17.1%	8.8%
	しない	87.2%	81.8%	92.7%	90.0%	82.9%	91.2%
状 況	過 剰	8.3%	0.0%	7.7%	8.1%	3.0%	3.0%
	適 正	69.5%	85.0%	76.9%	70.3%	69.7%	69.7%
	不 足	22.2%	15.0%	15.4%	21.6%	27.3%	27.3%
DI	▲13.9	▲15.0	▲7.7	▲13.5	▲24.3	▲24.3	

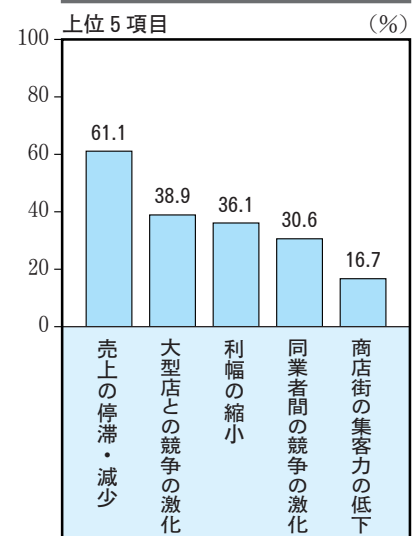
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年		平成23年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	10.8%	5.0%	11.1%	5.4%	0.0%	3.1%
	不 変	83.8%	90.0%	77.8%	83.8%	90.6%	90.6%
	減 少	5.4%	5.0%	11.1%	10.8%	9.4%	6.3%
人 手	過 剰	5.3%	5.0%	8.1%	10.5%	5.7%	2.9%
	適 正	81.5%	87.5%	86.5%	68.4%	74.3%	85.7%
	不 足	13.2%	7.5%	5.4%	21.1%	20.0%	11.4%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



サービス業 (調査先企業31社 うち回答企業30社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**3.3%**（前期**17.9%**）、悪かったとする企業は**50.0%**（前期**60.7%**）で、DIは**▲46.7**（前期**▲42.8**）と**3.9**ポイント悪化幅が拡大し、厳しさを増した。

各指標別で見ると、売上額は前期と比べDI**▲16.7**（前期**▲13.8**）と**2.9**ポイント減少を強めている。収益のDIも**▲26.7**（前期**▲17.3**）と**9.4**ポイント減少を強めている。資金繰りのDIは**▲40.0**（前期**▲27.6**）と**12.4**ポイント下降し窮屈感が強まった。借入面は、今期借入れをした企業は**23.3%**（前期**20.7%**）と僅かに増加した。借入れが容易とする企業は**7.1%**（前期**3.7%**）、難しいとする企業は**14.3%**（前期**11.1%**）となっている。材料価格のDIは**▲40.0**（前期**▲31.1**）で仕入価格が上昇した企業の割合が増加し、厳しい状況を強めた。また料金価格のDIは**▲10.0**（前期**3.5**）と販売価格が上昇した企業の割合が減少し下割に転じた。設備の状況については、過剰とする企業は**3.3%**（前期**7.4%**）、不足とする企業は**26.7%**（前期**18.5%**）となっている。また今期設備投資の実施をした企業は**16.1%**（前期**26.7%**）と減少した。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲46.7**（前年同期**▲20.0**）と**26.7**ポイント減少、収益面もDI**▲40.0**（前年同期**▲30.0**）と**10.0**ポイント減少した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI**▲70.0**（今期**▲46.7**）と**23.3**ポイント減少し、さらに業況感が落ち込む見通しである。

主な指標で見ると、売上額のDI**▲63.4**（今期**▲16.7**）と**46.7**ポイントさらに減少を強める見通しである。収益のDIも**▲56.7**（今期**▲26.7**）と**30.0**ポイント減益幅が拡大する見通しである。資金繰りのDIは**▲43.3**（今期**▲40.0**）と引き続き窮屈感が強い見通しである。借入れを予定している企業は**34.5%**（今期実施**23.3%**）の見通しであり、設備投資の実施を予定している企業は**26.7%**（今期実施**16.1%**）と、借入および設備投資の実施をする企業は今期より増加する予想である。

◆DI指数推移

	平成22年	平成23年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲40.0	▲55.2	▲64.5	▲42.8	▲46.7	▲70.0
売 上 額	▲36.6	▲62.1	▲25.8	▲13.8	▲16.7	▲63.4
収 益	▲33.3	▲62.1	▲48.4	▲17.3	▲26.7	▲56.7
料 金 価 格	▲16.7	▲20.7	▲6.4	3.5	▲10.0	▲13.4
材 料 価 格	▲10.0	▲17.3	▲32.3	▲31.1	▲40.0	▲33.3
資 金 繰 り	▲30.0	▲58.6	▲48.3	▲27.6	▲40.0	▲43.3

◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

	平成22年	平成23年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	36.7%	44.8%	29.0%	20.7%	23.3%	34.5%
	しない	63.3%	55.2%	71.0%	79.3%	76.7%	65.5%
借 入 難 易 度	容 易	6.7%	3.4%	6.7%	3.7%	7.1%	—
	不 変	60.0%	69.1%	63.3%	70.4%	67.9%	—
	難	13.3%	10.3%	13.3%	11.1%	14.3%	—
	該当なし	20.0%	17.2%	16.7%	14.8%	10.7%	—

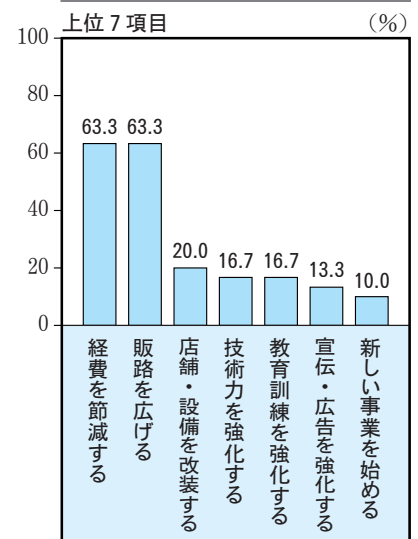
◆設備投資の動き (有効回答に占める割合)

	平成22年	平成23年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	33.3%	16.1%	34.3%	26.7%	16.1%	26.7%
	しない	66.7%	83.9%	65.7%	73.3%	83.9%	73.3%
状 況	過 剰	6.9%	12.0%	6.9%	7.4%	3.3%	6.7%
	適 正	79.3%	80.0%	72.4%	74.1%	70.0%	66.6%
	不 足	13.8%	8.0%	20.7%	18.5%	26.7%	26.7%
D I	▲6.9	4.0	▲13.8	▲11.1	▲23.4	▲20.0	

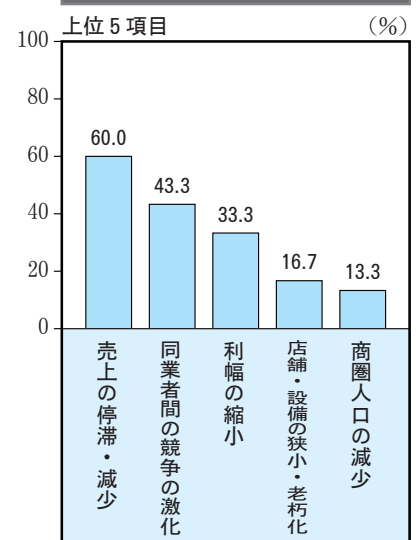
◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

	平成22年	平成23年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	3.7%	3.8%	3.6%	15.4%	7.1%	7.1%
	不 変	81.5%	65.4%	53.5%	61.5%	78.6%	71.5%
	減 少	14.8%	30.8%	42.9%	23.1%	14.3%	21.4%
人 手	過 剰	24.1%	24.1%	26.7%	10.3%	6.7%	23.3%
	適 正	62.1%	69.0%	73.3%	79.4%	60.0%	56.7%
	不 足	13.8%	6.9%	0.0%	10.3%	33.3%	20.0%

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



不動産業 (調査先企業7社 うち回答企業7社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**0.0%**）、悪かったとする企業は**42.9%**（前期**28.6%**）で、DI▲**42.9**（前期▲**28.6**）と14.3ポイント悪化幅が拡大した。

各指標別で見ると、売上額は前期に比べDI**10.0**（前期▲**28.6**）と**28.6**ポイント増加し改善した。収益面についてはDI**14.3**（前期**0.0**）と**14.3**ポイント増加し好転した。販売価格のDIは▲**28.6**（前期▲**28.6**）と前期と同様に下降傾向で推移した。仕入価格のDIも**28.6**（前期**28.6**）と前期と同様に下降傾向で推移した。今期借入れをした企業は**0.0%**（前期**28.6%**）であった。

前年同期比で見ると、売上額はDI**28.6**（前年同期▲**12.5**）と**41.1**ポイント増加し好転、収益面もDI**28.6**（前年同期**0.0**）と**28.6**ポイント増加し好転した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI▲**42.9**（今期▲**42.9**）と今期と同様に低迷が続く予想である。

各指標別では、売上額はDI▲**42.9**（今期**0.0**）と大きく減少する見通しである。収益面についてもDI▲**28.6**（今期**14.3**）と増加から減少に転じる見通しである。販売価格のDIは▲**28.6**（今期▲**28.6**）と今期と同様に下降傾向の見通しである。仕入価格はDI**42.9**（今期**28.6**）と価格が下降する企業が増加する見通しである。借入れを予定している企業は**0.0%**（今期実施**0.0%**）で借入の予定をしている企業はない。

◆DI指数推移

	平成22年	平成23年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲37.5	▲50.0	▲25.0	▲28.6	▲42.9	▲42.9
売 上 額	▲12.5	▲25.0	▲12.5	▲28.6	0.0	▲42.9
収 益	0.0	▲25.0	12.5	0.0	14.3	▲28.6
販 売 価 格	▲50.0	▲50.0	▲37.5	▲28.6	▲28.6	▲28.6
仕 入 価 格	37.5	62.5	50.0	28.6	28.6	42.9
在 庫	12.5	14.3	0.0	▲14.3	0.0	▲14.3
資 金 繰 り	▲12.5	▲12.5	0.0	14.3	0.0	▲14.3

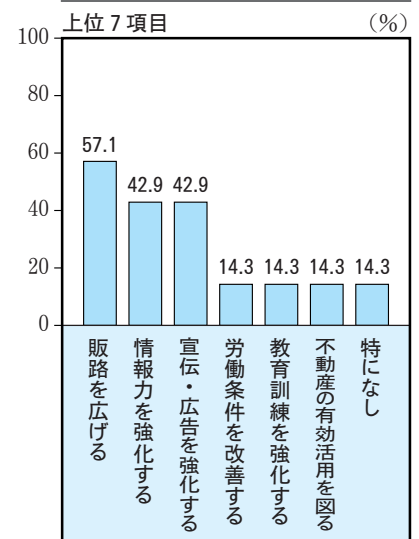
◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成22年	平成23年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	25.0%	25.0%	12.5%	28.6%	0.0%	0.0%
	しない	75.0%	75.0%	87.5%	71.4%	100.0%	100.0%
借 入 難 易 度	容 易	37.5%	12.5%	25.0%	28.6%	14.3%	—
	不 変	50.0%	50.0%	50.0%	42.8%	42.8%	—
	難	12.5%	25.0%	25.0%	14.3%	14.3%	—
	該当なし	0.0%	12.5%	0.0%	14.3%	28.6%	—

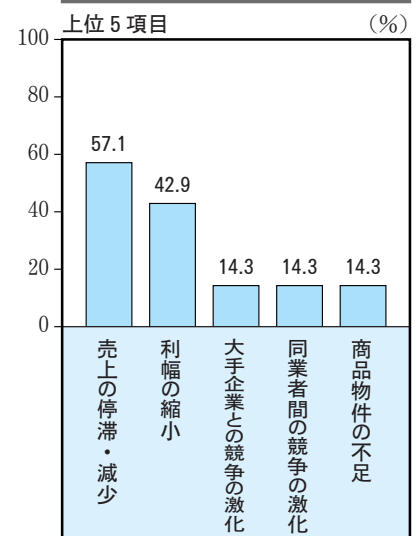
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成22年	平成23年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%	100.0%
	減 少	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
人 手	過 剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	適 正	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



特別調査 平成24年の経営見通し

問1 平成24年の日本の景気をどのように見通していますか。

●景気見通しは前年同様に厳しく明るさ見られない

平成24年の日本の景気見通しについては「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答した企業の割合は僅か2.5%で、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）と回答した企業の割合は非常に高く86.7%であった。

この結果、「良い－悪い」は▲84.2と1年前の水準（▲84.7）とほぼ同様で、依然として厳しい水準にあり景気に明るさは見られない。

業種別に見ても同様な状況で、全ての業種において景気の見通しが厳しいことを示していると言える。

	総 合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. やや良い	2.5%	3.9%	2.2%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
4. 普通	10.8%	11.7%	8.9%	25.0%	8.3%	10.0%	14.2%
5. やや悪い	45.3%	45.4%	48.9%	50.0%	44.4%	40.0%	42.9%
6. 悪い	36.5%	37.7%	31.1%	25.0%	38.9%	40.0%	42.9%
7. 非常に悪い	4.9%	1.3%	8.9%	0.0%	5.6%	10.0%	0.0%

問2 平成24年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。

●自社の景気見通しも前年同様に厳しさが続く

平成24年の自社の業況（景気）見通しを「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答した企業の割合は5.4%と低く、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）と回答した企業の割合は67.4%と高かった。「良い－悪い」は▲62.0で1年前の水準（▲59.8）よりさらに低く、依然として厳しい状況が続くと予想している。

業種別に見ても、「良い」と回答した企業の割合は全業種において低く、厳しい業況であると言える。

	総 合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 良い	0.5%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. やや良い	4.9%	10.5%	0.0%	0.0%	2.8%	3.3%	0.0%
4. 普通	27.2%	29.0%	24.5%	50.0%	19.4%	20.0%	71.4%
5. やや悪い	43.1%	39.5%	40.0%	37.5%	55.6%	46.7%	28.6%
6. 悪い	20.3%	18.4%	28.9%	12.5%	22.2%	16.7%	0.0%
7. 非常に悪い	4.0%	2.6%	4.4%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%

問3 平成24年において貴社の売上額の伸び率は、平成23年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

●自社の売上見通しは低迷状況が続くが業種間に格差

平成24年の自社の売上額見通し（伸び率）を「増加する企業」－「減少する企業」の割合で見ると▲28.2となり、1年前の水準（▲30.1）と比較して1.9ポイント改善はしたが、依然として低迷状況が続くと予想している。

業種別で見ると格差があり、製造業・建設業・小売業・サービス業はマイナス領域であるが、卸売業（12.5）と不動産業（14.3）は僅かではあるが増加傾向に転じる見通しである。

	総 合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 30%以上の増加	0.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 20～29%の増加	1.0%	1.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 10～19%の増加	5.4%	9.2%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	14.3%
4. 10%未満の増加	12.9%	6.6%	17.8%	50.0%	16.7%	10.0%	0.0%
5. 変わらない	32.2%	31.6%	26.7%	12.5%	41.6%	23.3%	85.7%
6. 10%未満の減少	30.2%	31.6%	35.6%	25.0%	25.0%	33.4%	0.0%
7. 10～19%の減少	12.4%	10.5%	8.9%	0.0%	16.7%	23.3%	0.0%
8. 20～29%の減少	3.9%	6.6%	4.4%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
9. 30%以上の減少	1.5%	1.3%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 4 自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。

●本年中に良好感35.7%で1年前よりやや良化

自社の業況が上向き転換点については、本年中に良好感が出る（「すでに上向いている」「6ヶ月以内」「1年後」と回答した企業は**35.7%**となり、1年前の水準（**33.4%**）と比較してやや良化した。しかし、「業況改善の見通しは立たない」とする回答は**28.1%**（1年前**31.9%**）と、まだ3割近い企業が業況改善の見通しが立たない状況である。

業種別で見ると、本年中に良好感が出るとする回答は、製造業が一番大きく**52.7%**、次いで建設業**33.4%**、不動産業**28.6%**、卸売業**25.0%**、サービス業**23.3%**、小売業**17.2%**の順であった。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. すでに上向いている	8.0%	10.8%	6.7%	12.5%	2.9%	6.7%	14.3%
2. 6ヶ月以内	12.1%	20.3%	8.9%	0.0%	11.4%	3.3%	0.0%
3. 1年後	15.6%	21.6%	17.8%	12.5%	2.9%	13.3%	14.3%
4. 2年後	15.1%	14.9%	6.7%	12.5%	25.7%	13.3%	28.5%
5. 3年後	11.6%	6.7%	15.5%	25.0%	5.7%	20.0%	14.3%
6. 3年超	9.5%	5.4%	13.3%	12.5%	14.3%	6.7%	14.3%
7. 業況改善の見通しは立たない	28.1%	20.3%	31.1%	25.0%	37.1%	36.7%	14.3%

問 5 事業展開上（売上・収益の増加などに向けて）、今後の成長・拡大を期待したいのはどのような分野ですか。最大3つまでお答え下さい。

●期待したい分野は「環境・エネルギー」「地域活性化・町おこし」

今後の成長・拡大を期待したい分野は「環境・エネルギー」の回答が一番多く**36.5%**、次いで「地域活性化・町おこし」**31.5%**、「特にない」**21.2%**、「健康産業（食品、機器など）」**16.7%**、「介護・医療」**15.8%**と続く。

業種別で見てもほぼ同様であるが、製造業は長引く円高を反映してか2番目に「海外市場（海外展開、輸出など）」の回答が多かった。

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 環境・エネルギー	36.5%	31.2%	60.0%	50.0%	33.3%	23.3%	0.0%
2. 介護・医療	15.8%	20.8%	11.1%	12.5%	13.9%	10.0%	28.6%
3. 健康産業（食品、機器など）	16.7%	19.5%	6.7%	50.0%	22.2%	13.3%	0.0%
4. 海外市場（海外展開、輸出など）	11.8%	27.3%	0.0%	12.5%	2.8%	3.3%	0.0%
5. 外国人向けビジネス（国内需要向け）	1.5%	2.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
6. IT関連（情報通信）	10.3%	15.6%	6.7%	0.0%	11.1%	6.7%	0.0%
7. 農林水産業	6.4%	7.8%	8.9%	0.0%	2.8%	6.7%	0.0%
8. 地域活性化・町おこし	31.5%	6.5%	46.7%	37.5%	33.3%	63.3%	57.1%
9. その他	3.9%	3.9%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
10. 特にない	21.2%	23.4%	15.6%	12.5%	22.2%	20.0%	42.9%

商品のご案内	
お使いみち	ご自由(事業性資金もOK!)
お申込みいただける方	<ul style="list-style-type: none"> ●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方 ●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方 ●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK) ●世帯収入のある専業主婦(夫)の方
ご融資金額	10万円以上300万円以下(1万円単位)
ご融資利率	<ul style="list-style-type: none"> ●年9.0%(保証料を含む) 固定金利 ●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。
ご融資期間	6ヶ月以上7年以内
ご返済方法	<ul style="list-style-type: none"> ●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります) ●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もご座います。
担保・保証人	不要 [※クレジットの保証付]

●詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。
●店頭にご覧いただける商品概要説明書をご用意しております。
●審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。